

◆ベンゲラ州5市での母子健康手帳の導入研修を開始◆

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により約1年開催が遅れてしまいましたが、遂にベンゲラ州の5市（Benguela市、Baia Farta市、Catumbera市、Caimbambo市、Ganda市）にて、母子健康手帳の導入研修を開始することができました！

ベンゲラ州市指導者研修

5月3日～7日（5日間）の日程で指導者研修を実施しました。開会式では、ベンゲラ州保健局公衆衛生部長の Dr. Americo がベンゲラ州全市での母子健康手帳の導入を心待ちにしていたと挨拶されました。研修には、今後母子健康手帳の担当者となっていく方々が参加し、全員が全過程を終了し、医療従事者研修の指導者として任命されました。

また、ベンゲラ医療従事者養成学校（Instituto Técnico de Saúde de Benguela）の教員2名も参加しました。教員たちによって、学校内での母子健康手帳の講義が実施される予定です。学生の頃から、母子健康手帳の内容に触れ、理解しておくことが期待されます。



ベンゲラ州保健局公衆衛生部長
Dr. Americo



ベンゲラ州市指導者研修
集合写真

ベンゲラ市医療従事者研修

指導者研修に続いて、ベンゲラの州都であるベンゲラ市で医療従事者研修の実施、モニタリング&スーパービジョン、施設内研修、母子健康手帳の配布が行われました。ベンゲラ市にある全ての保健施設で、5月下旬から母子健康手帳の配布が開始されました。母子健康手帳の配布を心待ちにしていた母親、家族が保健施設に来て、保健スタッフから手帳を受け取りました。

世界銀行から母子健康手帳52万部を受領

プロジェクトの対象3州（ルアンダ、ベンゲラ、ウアンボ）で配布する母子健康手帳約52万部を世界銀行から受け取りました。プロジェクト終了までに必要な手帳のほぼ全ての数が確保されました。このプロジェクトは、2022年6月までの予定で、残り約1年です。終盤になり、国家公衆衛生局、州保健局、開発パートナーと今後の印刷の持続性について協議がされています。

